

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	保育実践演習				
担当者氏名	白川 晴美、飯島 仁美				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	3年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	○ 専門応用-4 発達の深い理解 ◎ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

保育者には豊かな感性、表現力、発想力、指導力など多くの力が求められる。また保育者同士の連携と協同の意識も重要となる。共に演習を行い、協同しながら企画し、実践する。

《授業の到達目標》

- ・保育者間の連携と協同の意識を涵養する。
- ・子どもの育ちや発達段階を理解し、発達を促すおもちゃや環境について理解する。

《成績評価の方法》

定期テストは実施しない。
 授業における貢献度、作品によって評価する。
 平常点（受講態度等）20％
 製作物、発表、提出物80％

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	演習の目的と内容 保育者間の連携と協同の意識について学ぶ
2	乳幼児の発達とおもちゃの関係	乳幼児の発達とおもちゃの関係 廃材の利用について学ぶ
3	おもちゃ製作の計画	製作シートの決定（遊び、ねらい、作り方、遊び方等）
4	製作①	グループで製作活動
5	製作②	グループで製作活動
6	製作③	グループで製作活動
7	製作の相互評価	グループで製作活動 進捗状況について報告、相互評価を行う。
8	製作④	グループで製作活動
9	子ども理解と保育の応用①	子どもを理解することと保育の応用について学ぶ
10	子ども理解と保育の応用②	子どもを理解することと保育の応用について学ぶ
11	製作⑤	グループで製作活動
12	製作⑥	グループで製作活動 完成
13	クラス毎に発表	クラス毎に発表を行い、交流をする。
14	お店屋さんごっこ	子どもたちと関わり、子どもの様子や親子の関わりについて観察する。 また援助の方法について学ぶ。
15	まとめ 課題の整理	意見交流とまとめ

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
 適宜資料を配布する。
 はさみ、のり、サインペンなどを持ってくることを指示することがある。
 造形材料の収集、購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

製作物は、授業外で取り組むこともある。

《備考（教員経験の有無）》

保育現場の経験有。
 コロナ感染状況により、学習の内容、時期の入れ替え、変更にある場合がある。